

# 「中央アジア+日本」対話・首脳会合の成果：「東京宣言」骨子

## 日本と中央アジアの未来に向けた協力の方向性：CA+JAD（カジャッド）東京イニシアティブ

- 日本の先進的な技術・知見を活用し、中央アジア5か国の産業高度化・多角化を後押しする「**互恵関係強化のためのCA+JAD（カジャッド）東京イニシアティブ**」を立ち上げ。
- **重点協力3分野**において**互恵的なプロジェクト**を推進。
  - ①**グリーン・強靱化**：**重要鉱物サプライチェーン強靱化**、**エネルギーtransition**に関する協力（二国間クレジット（JCM）の推進）、防災協力（UNDPと連携した5か国防災案件）等
  - ②**コネクティビティ**：運輸回廊円滑化による連結性強化（**「カスピ海ルート」円滑化支援**）、AIエコシステムの共創（**「AI協力パートナーシップ」**）等
  - ③**人づくり**：各種人材育成事業、投資環境整備によるビジネス関係強化、医療・保健分野の協力等
    - ・**今後5年間で総額3兆円規模のビジネス・プロジェクト**の目標を設定。
    - ・法務・司法分野の協力（法務大臣会合の開催）

## 地域情勢、国際場裏における協力等

- **法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化するパートナーシップ**を確認。
- 主権及び領土一体性の尊重、武力による威嚇又は武力の行使の禁止、人間の尊厳の保護・強化等の国連憲章の原則の堅持を表明。
- 地球規模課題について、人間の安全保障の理念の下、SDGsの達成を目指すことを確認。
- 「核兵器のない世界」の実現に向けたコミットメントを表明。
- 非市場的政策・慣行及び**経済的威圧への対処**について連携及び協力を強化。
- 関連する国連安保理決議に従った**朝鮮半島の完全な非核化**へのコミットを再確認。安保理決議の完全な履行の必要性及び**拉致問題**を含む人道問題の解決の重要性を強調。
- 経済安保の観点から、**強靱なサプライチェーン強化の重要性**を確認。
- **次期首脳会合のホスト国はカザフスタン**からアルファベット順。開催時期は今後調整。